

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 www.kenkourou.or.jp/
 E-mail: dqj06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

マイナンバー取得を強要する保険証廃止 トラブル続出で信頼できないマイナカード

住民票は誤発行が続出 マイナ保険証では別人データ

現在の健康保険証を廃止してマイナンバーカードと保険証を一体化する法案が国会で審議されています。

秋に廃止してマイナカードに保険証としての機能を持たせる法案です。マイナカードを取得するかどうかは任意です。政府のやり方はマイナカードを持たなければ病院に行けなくなるかのよう脅して取得を強制するものです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 マイナ保険証を持たない人には、保険証の廃止後、保険加入の

「資格確認書」を発行するといいますが申請が必要で、有効期間があり、更新手続きも必要です。病気などで手続きできなければ、保険料を払っていても保険診療を受けられなくなる恐れがあります。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 マイナカードを巡っては住民票の誤発行や別人の保険証データが7300人分も誤登録されるなどトラブルが続出しており、信頼性を疑問視する声が高まっています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 今後銀行口座情報とのひも付けや運転免許

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 病院の経費負担や窓口混乱など、医療現場からもマイナ保険証に対する不安の声が上がっています。



病院の経費負担や窓口混乱など、医療現場からもマイナ保険証に対する不安の声が上がっています。
 (都内での反対行動)

「口約束」を「契約」に フリーランス新法の活用を

機能など個人情報の一管理が画策されています。使途を拡大することで個人情報などがどこでどう悪用されるかわかりません。

労働法による権利拡大(1)が必要

4月28日国会で、フリーランス新法(特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律)が全会一致で成立しました。

「フリーランス」という言葉で誤解されがちですが、一人親方として働くダンブ・建設職人・軽貨物などの組合員も法律の対象になります。

無権利状態で働く個人事業者が安心して働けることを目的につくられました。

【契約条件の明示義務】
 「一回一万だけやってくれない」「いいですよ」こんな口頭でのやり取りで仕事をするケースが少なくありません。新法では法人的契約はもろろん個人

「単価を勝手に下げられた」「こんなトラブルも少なくありません。請負や委託契約己の場合でも「下請法」で指導できる場合があります。しかし「下請法」は発注者の資本金が一千万円以上でないと対象になりません。フリーランス新法は資本金条

件がなく、継続的業務委託に限定して、
 ① 一方的な受領拒否
 ② 一方的な報酬減額
 ③ 一方的な返品
 ④ 買いたたき
 ⑤ 一方的な押し売り
 ⑥ 金銭・役務などの利益提供の強要
 ⑦ 不当な変更・やり直し
 の強要。

命令停止相談停止 組合内の学習対象外 来年以降も自主申告

岸田政権は税理士法を改悪し、納税者が行う税務相談を財務大臣が調査・停止する権限をもつ「税務相談停止命令制度」を創設しました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 組合では関係団体と緊急反対署名などに取り組みました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 国会では日本共産党が追及し、①税務相談の内容が脱税や不正還付の指南に該当し②納税義務の適正な実現に重大な影響を及ぼす場合という二つの制約が課せられることが明らかになっています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 組合の相談会は何ら問題はなく、今後も自主計算書に基づく自主申告に取り組みます。

◎岸田政権は今年度軍事費予算に6兆3千億円を計上。空前の大軍拡を強行しようとしています。6月も軍拡反対を訴える「9の日行動」足利市アピタ前で行います。

◎岸田内閣の支持率が上がったそうです。G7も被爆地ヒロシマもゼレンスキーも結局、自民党の総選挙対策に利用されたのではないのでしょうか。

公害発祥の地・足尾銅山閉山50年 悲劇を伝える植林活動継続



組合員も毎月参加。植林はシカなどによる獣害とのたたかい。苦労して植えた苗木が全滅することもある。



亜硫酸ガスなどの煙害に耐えぬき生き残った「孤高のブナ」(左上)。4/29崩壊地での土留め保護活動。

国内最大の銅鉱山として日本の近代化を支えた足尾銅山(現在日光市)。昭和48年の閉山から今年で50年になります。銅山から発生した鉱毒により渡良瀬川流域には甚大な被害が発生しました。足尾では鉱毒の影響により荒廃した山谷に緑を復活させる取り組みが継続されています。

足尾では長年国、県、市、佐野市といった下流地域の河川が氾濫し、組合員を含め多くの市民が床上浸水などの被害を受けました。気候変動による記録的な雨量の増加とともに、山林の荒廃による流域の保水力低下が被害増大の一因と指摘されています。

2019年台風19号により日光山域にも足尾銅山問題は進行形です。採掘を停止し

ても坑排水は発生しており、それを堆積させているダムの安全管理を半永久的に継続する必要があります。社会全体の経済活動のために地方が犠牲になる。福島第一原発事故処理と同様の構図です。

「真の文明は山を荒らさず」足尾鉱毒事件に生涯をささげた明治の政治家田中正造(佐野市出身)の言葉です。私たちは山を削り自然を破壊することで成り立つ砕石業界の末端で活動してきました。今後でも微力ですが、渡良瀬川の「流域治水」に取り組みたいと思います。



5月1日宇都宮市内で開かれたメーデー。7人が参加しました。

3年ぶり栃木県メーデー 物価高騰・賃上げ必要

建設国保改定 自治体と比較を

建設国保の新年度保険料が引き上げられています。自治体は来月令和4年分所得金額を把握します。お住いの市役所で国保保険料の試算をお勧めしました。所得の減少家族構成の変更により、自治体国保の方が安くなる人もいると思われま

【令和5年4月からの建設国保保険料】

1か月当たりの組合員保険料(円)

組合員年齢	19歳以下	20~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65歳以上
	11,000	13,000	16,000	20,000	23,000	25,700	25,900

1か月当たりの家族保険料(円)

家族年齢	0歳	1~6歳	7~18歳	19~64歳	65歳以上
	0	5,400	5,400	6,400	7,400



組合員40人・組合費1500円で結成。第1号組合員は久野義雄さん。

関東ダンプ50周年記念 在籍40年表彰のお知らせ

1973年9月2日、関東ダンプの前身埼玉建設資材ダンプ分会が結成されました。今年結成50周年を記念して在籍40年以上の組合員(1983年1月2月31日以前加入者)を対象に感謝状を贈呈します。対象者はお申し出ください。